

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 下呂特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年5月19日(月) 9:30~11:30
- 3 開催場所 下呂特別支援学校多目的室  
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者  
会長 長谷川 和正 株式会社ハウテック(総務部長)  
副会長 細江 節子 下呂市単位民生委員児童委員協議会(主任児童委員)  
委員 桐山 啓 下呂市小川区長  
今井 広一 加子母むらづくり協議会(教育分科会)  
目次 丈太 佐橋工業株式会社(萩原工場 工場長)  
井口 フキ子 益田山ゆり園(施設長補佐)  
川口 春美 下呂市障がい者生活相談センター(相談員)  
二村 善樹 下呂特別支援学校PTA会長  
西垣内弘子(欠席) 下呂市福祉部こども家庭課(対策監)

学校側	熊崎 礼子	校長
	林 哲治	教頭
	熊崎 高志	事務長
	原 るみ子	小中学部主事
	小栗 毅石	高等部主事
	石原 さゆり	教務主任

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 学校経営計画及び組織編制について

学校 : 今年度の学校経営計画及び組織編制、各学部の方針と活動計画の説明

意見1 : 卒業後、社会に出た後に必要となってくるコミュニケーション力の育成をしてほしい。

意見2 : 卒業生たちは、就職した企業で頑張っている。学校での教育が身に付いている。下呂特別支援学校の教育方針に沿った学校運営を続けていってほしい。

意見3 : 授業を参観して児童生徒たちの成長が感じられた。児童生徒数が少なくなり行事運営等の難しさもあるが、児童生徒が生き生きと活動できるよう取り組んでいってほしい。

意見4 : 高等部の作業学習を見学して、3年間の成長の様子が感じられた。

意見5：今年度の入学式に参加したが、新入学生の、この一か月半での成長に目を見張るものがあった。

意見6：児童生徒の表情がよく、特性に応じた支援がなされている。

#### (2) 教育課程の編成及び年間行事計画について

学校：各部と類型ごとの教育課程及び年間行事計画を資料にて説明

意見1：益田清風高校等との交流及び共同学習は、今後も継続してほしい。

意見2：卒業後の自立と社会参加に向けて、在学中に様々な人と関わる機会を設けてほしい。

意見3：防災に関する訓練は、専門家からの助言を得ながら実施していけるとよい。

#### (3) 作業製品の価格設定について

学校：令和7年度各作業班製品一覧にて説明

意見1：材料費が上がれば値上げをするか。

⇒昨年度の段階で値上げをしたが、今後も原材料の価格に応じて検討していく。

意見2：ストラップやマグネット付きの商品は需要がありそうな製品である。

意見3：窯業班と縫工班とでコラボレーションした製品を企画してはどうか。

#### (4) その他

意見1：昨今の交通事故のニュースを見て、道路沿いのスクールバスや路線バスのバス停における安全性（バスの待ち方、並び方）を心配している。

意見2：学校運営協議会委員への会議、行事案内や学校だより等の配布物をメール添付にしてもよいのではないか。

意見3：今後も、卒業後の人生を応援してくれる学校であってほしい

意見4：教員が児童生徒に向き合って尽力している。下呂特別支援学校のよさを浸透させていけるように学校運営協議会委員として支援していきたい。

意見5：今後も地域の社会福祉施設として学校と連携し、保護者のニーズなど情報共有を図りたい。

### 6 会議のまとめ

- ・令和7年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営方針について、全委員より承認が得られた。
- ・令和7年度高等部作業製品の価格について、全委員より承認が得られた。

#### <今後の課題>

- ・人との関わりを通じた学びの場の拡大と充実を図る。
- ・スクールバスのバス停や公共交通機関を利用する生徒のバス停など、通学状況を再度確認し、バスの安全な待ち方について指導、啓発を行う。
- ・学校運営協議会委員との連絡や情報提供方法の電子化を可能な範囲で図っていく。